

【都筑区】令和6年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和6年9月6日（金）10：00～11：05
場 所	6階大会議室
出席者	<p>【座長】深作祐衣 議員</p> <p>【議員：3名】市来栄美子 議員、磯部尚哉 議員、白井亮次 議員</p> <p>【都筑区：30名】佐々田賢一 区長、落合明正 副区長、増山敬太 災害対策担当部長（都筑消防署長）、中山昭 福祉保健センター長、浦崎真仁 福祉保健センター担当部長、藤井由貴 福祉保健センター医務担当部長、小島淳 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について 2 令和6年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の執行状況について 3 令和7年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について（案） 4 報告案件 <ol style="list-style-type: none"> （1）都筑区制30周年に向けた取組について （2）令和6年度のGREEN×EXPO 2027の機運醸成の取組について
発言の旨	<p>【都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業】</p> <p>白井議員：つづきあい基金が申請を下回った理由は何か。</p> <p>清福祉保健課長：コロナ禍で地域の活動が進まなかったことが背景にあると思われる。地域へ制度周知をより一層進めていく必要があると考えている。区社協と共同で運営している補助金であり、両者で協力して周知に努めたい。</p> <p>白井議員：例えばどういう活動に払われるのか。</p> <p>清福祉保健課長：地域の中での広報活動（広報誌の作成等）や、ホームページの立ち上げのための機材の備品費用などに活用されている。</p> <p>【都筑区制30周年記念事業】</p> <p>白井議員：30周年グッズの在庫状況はどうか。</p>

橋本区政推進課長：エコバックやステッカー、ポスターやチラシなどを主に作成し、機運醸成に努めている。

在庫状況についてはそれぞれかなりなくなっている状況。地域の掲示板のチラシについては劣化が見られるということで、これからまた改めて新しいものに張り替えていただくように、今月の区連会で依頼する予定。

白井議員：ポスターは区商連にも配っているか。ぜひ配ってほしい。

橋本区政推進課長：区商連に配っているかは確認する。ガーランドは配っている。

【安全・安心なまちづくり事業】—交通安全運動—

白井議員：PTA が存続の危機となる中で、PTA 会長が充て職のような形でスクールゾーン対策協議会長になるケースが多い。協議会はどうまくいっているのか。新しい工夫をしなくてはいけないのか状況を教えてほしい。

須藤地域振興課長：PTA の方が充て職で従事していることは認識している。協議会においてどこの地区で人が足りないという話は来っていない。担い手不足については地域の方と情報共有し、適宜対応していきたい。

【横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業】

—ダイバーシティスポーツ関連—

白井議員：イベントではなく講座という認識で良いか。

須藤地域振興課長：今年度はイベントではない。昨年度はイベントを実施し非常ににぎわった。一方で実行委員会の方からは、ダイバーシティやインクルーシブについて理解が少し足りていないとの振り返りがあった。

今年度は、イベントありきではなくて、まずその実行委員の皆様がダイバーシティ、インクルーシブについて理解をし、その上で都筑区として、インクルーシブスポーツ等について新たなスポーツを考えていくというようなどころまで踏み込んでいきたいと考えている。

【まちづくり総合調整事業】—区内商業施設との連携—

磯部議員：「ノースポート・モール」を運営する東急不動産等と連携協定を締結したとのことだが、市内、他自治体で連携が進んでいる事例はあるのか。

橋本区政推進課長：同じように東急と戸塚区役所が今年の3月に連携協定を締結している。また、IKEA港北と横浜市で連携協定を締結しており、都筑区では朝市の開催などを協力してもらっている。

【危機管理対策事業】

磯部議員：先週末の台風で、ある公園では水が溜まり水位がかなり上がっていた。実際に区内でこういった事例はあったか。この8月中旬と先週末と、災害対策について何か課題が見えてきたものはあったか。

江口総務課長：幸い被害は報告を受けていない。長期にわたる降雨が続くということで避難所も2か所追加したが、区内の被害はなかった。

雨が降れば京浜河川事務所や消防などと川の水位を情報共有し注視しており、土壌水分量についても、土砂災害警戒情報からもう1歩進むところに行くか行かないか、避難タイムを含めて確認している。引き続ききめ細かく確認をしていく必要があると考えている。

磯部議員：公園に水が溜まった場合、どうしたら良いか。

矢口土木副所長：水がかなり上がってくるということであれば、現場パトロールなどにより、必要な対応を行う。

<関連質問>

磯部議員：この時期、中央分離帯の雑草が伸びて車に当たるような場所もあるが、どのように対応しているのか。

矢口土木副所長：中央分離帯に限らず、道路については計画的に剪定をしている。ただし、順番が遅くなり伸びてきてしまう所はある。危ない所があれば直営の整備班が対応している。

【妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業】

市来議員：アレルギーのある患者が非常に増えているが、アレルギー対策の情報が限られている。また、古い情報をもとにアレルギー対策を助言する方もいる。都筑区として、アレルギーに関する教育をする予定があるか。

上田こども家庭支援課長：生後間もないお子さんがいる家庭には、「こんにちは赤ちゃん訪問員」が訪問している。訪問員は民生委員、児童委員、子育て経験がある方などで医療従事者ではないので、アレルギーに関して安易に過去の知識や自身の経験からの助言は行わないよう、指導徹底していく。

区役所では保健師、助産師が家庭を訪問する事業がある。アレルギーについて相談された場合には、医療機関を早めに受診するようアドバイスしている。

明日市役所で「食物アレルギーとアトピー性皮膚炎」というテーマで市民向け講演会が行われるほか、乳幼児検診の会場でもアトピー性皮膚炎防止のためのスキンケアのリーフレットなど、いろいろな情報を目に触れるように配架している。パマトコが始まって直接子育て世代にお届けできるようになったので、そういったものも活用しながら、情報を積極的に出していきたいと考えている。

古橋学校連携・こども担当課長：保育園においては食物アレルギー対応マニュアルを作成し、こどもたちの安心、安全な保育のため取り組んでいる。幼稚園においても神奈川県のアレルギー疾患に対するガイドラインを各園に示し、アレルギーのあるこどもへの対応を進めているところ。

保育士は医療従事者ではないので、養育者の皆様に直接的にアレルギーの情報をお伝えしたり助言したりすることがないように徹底する。その他、安全なアレルギー対応ができるよう、保育教育施設に勤務する職員を対象とした食物アレルギー研修を、こども青少年局にて実施している。

学校については現状、区で行っていることはないが、教育委員会と共有しながら引き続き適正に対応してまいりたい。

【再配当予算について】—防犯灯など—

市来議員：区民意識調査によれば、防犯に対して重要度は高いが満足度は低い。緑道の暗い所への防犯灯や防犯カメラなどの取組について伺いたい。

須藤地域振興課長：各自治会の皆様、地域の方からお話があれば、区で対応できる部分については共有する。防犯灯と防犯カメラといういわゆるハード面なのか、それとも例えば樹木の剪定などで解決できるのか。きめ細かく対応してまいりたい。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業】—防災・減災講演会の開催—

市来議員：防災・減災講演会について、状況を伺いたい。

江口総務課長：能登半島地震で課題となったトイレ問題について課題感を持って講演会をしようということが発端で、その専門家である加藤先生をお呼びして実施した。分かりやすい説明をしていただいたので、参加された方も課題感をお持ちになったのではと認識している。

【まちづくり総合調整事業】—区内企業との連携—

深作議員：「つづき博士クラブ」はどのような授業をしているのか。

橋本区政推進課長：都筑区にある様々な企業が、小学校や中学校で出前講座をするという取組。学校側からは、企業の取組や技術などを子どもたちが知ることができるきっかけになっており、企業に対するイメージアップにもつながり、体験もできるので非常に効果的だと聞いている。

備 考